

「岡大教職ナビ」では教職課程を履修しているすべての学生に役立つ情報を随時配信しています。ここでは配信した最新記事の一部を掲載しています。さらに詳しい情報や最新の情報はセンターホームページをごらんください。

教員・講師等募集・採用試験情報

- 学校法人宝文化学院幼稚園教員
- 法務省専門職員（人間科学）採用試験
- 川崎市教員採用試験説明会
- 東京都立学校教員採用試験に関する説明会
- 岡山県・岡山市立学校教員採用試験に関する説明会
- 山口県立学校教員採用試験に関する説明会
- 京都府立学校教員採用試験に関する説明会
- 学校法人朋和学園幼稚園教諭・保育士
- 横浜市立学校教員採用試験に関する説明会
- 大阪府及び豊能地区立学校教員採用候補者選考試験の説明会
- 高知県立学校教員採用試験に関する説明会
- 山口県立学校教員採用候補者選考試験説明会
- 大阪市立学校・幼稚園教員採用選考テスト
- 岡山県立和気閑谷高等学校・非常勤講師（生物）

「情報活用チップス」
2月・3月は、教員や講師の急募情報が多い時期です。そうした情報はニュースレターではなかなかお知らせできません。センターホームページをうまく活用して各自確認しましょう！

スクールボランティア募集情報

- 特別支援に関するボランティア活動（岡山市立中山中学校）
- e-ラーニング（国語・数学・英語）のチューター（岡山県立高松農業高等学校）
- 【H25年度ボランティア募集】赤磐市教育委員会学習支援ボランティア（赤磐市教育委員会学校教育課）
- 【ボランティア募集】学校支援ボランティア依頼内容一覧（2013.3.4現在）（岡山市教育委員会生涯学習課）

＜教員採用試験受験記＞平成25年度 岡山県 中学校 社会

合格

文学部人文学科 歴史文化学専修コース西洋史領域 佐藤 史章 さん

私が本格的に教員採用試験対策を始めたのは3年次の12月でした。それから本番までの半年間大切にしてきたのは、常に「教育とは何か」を考えることでした。まずは「なぜ、教員になりたいのか」と自分に問うことです。教員になる覚悟ができていますか？「教員になる」という夢を果たした「その先の自分」を想像出来ていますか？それができているあなたならば、試験を突破するために今の自分がどうすべきかを分かっているはず。夢を叶えるために、今の自分に足りない力は何か、それを身につけるためにはどう勉強すれば良いか。それがあなたにとっての「受験対策」になるはず。そして「教員になりたい」という「想い」を試験本番までに熟成し、面接官にぶつけられるかどうかです。高い志を持ったあなたと同じ職場で仕事出来る日を心待ちにしています。頑張ってください！

教員リレー・エッセイ「聴き上手」

副センター長 山根 文男 教授(特任)

私は小学校時代、父親の仕事の関係で3回の転校を余儀なくされ、子どもなりに自分の思いを主張する前に、相手の言い分を「聴く」ことでコミュニケーションを図り、新しい友人をつくらうとしていた事を思い出します。その体験から会得されたものなのか、人の話を「聴く」ことは得意であり、また大切にしてきたつもりです。昨今の慌ただしい社会生活の中、自己主張はできるが、人の話を心の余裕をもって「聴く」ということが少なくなっているように思います。うなづき・共感しながら、心を傾け誠意をもって真剣に、できれば時間無制限で「聴く」ことが、相手の心の扉を開くことになり、より良い人間関係づくりの第一歩になります。人は「ありのままの自分が認められ、大切にされ、必要とされている」ことを実感した時に、はじめて目が輝き、やる気になり、創造的、能動的に生きることができ、そのことが信頼関係にも繋がってくると確信しています。そして、「聴く」「話す」のタイミングは呼吸と全く同じであり、相手が一生懸命に主張している時は息を吐いている時なので、途中で口を挟んでも全く相手には伝わらず、心には響きません。言いたいことを言い尽くした時、必ず相手の呼吸は「吐く」から「吸う」に転ずるので、この時こそ、相手の心情を推し量りながら、おもむろに自分の思いや考えを話すのです。相手の呼吸は「吸う」状態にあるので、こちらの思いや考えは、自然に受け止められるのです。このタイミングを逃さず繰り返すことにより、お互いの思いや考えの本質やその背景が見え隠れし始め、少しずつ理解し合えるようになり、より良い人間関係に繋がっていくものです。かの大養木堂の「話せば分かる」は有名な言葉ですが、その裏には、きっと「聴けば分かる」の意が込められていたものと思います。また、「悩み事、吸い取るような聴き上手」という川柳を聞いたことがあります。まさに「聴く」ことは、人間関係・信頼関係づくりの基本であり、改めて「話し上手」の前に「聴き上手」を大切にしたいと思う昨今です。



岡山大学 教師教育開発センター ニュースレター

CTED NewsLetter

Center for Teacher Education and Development, Okayama University

第3号

(2013年4月1日)



TOPICS 今号の主な記事

- 【特集】学校園ボランティア活動支援「スクールボランティアビューロー」紹介
- 【特集】春のセンター三大イベント一挙紹介
 - ・全学教職オリエンテーション
 - ・スクールボランティア説明会
 - ・教師力養成講座
- 【報告】現職CST第1期生、初の認定！
- 【報告】電カインフラ学習 CST土曜講座
- 【報告】岡山市学校支援ボランティアシンポジウム・教師への道インターンシップ事業シンポジウム
- 【連載】教員採用試験のツボ その参「小論文の練習は面接対策でもある」
- 【連載】教員採用試験受験記：佐藤史章さん（文学部）
- 【連載】＜教員リレーエッセイ＞ 副センター長 山根 文男 教授(特任)
- 【掲示板】「岡大教職ナビ」最新情報
- 【掲示板】センターからのお知らせ

『学校園等で子どもたちと関わる支援をしたい』と思ったことはありませんか？『将来教師を目指すものとして、学校園等の現場のことをもっと理解したい』と思ったことはありませんか？岡山大学には、学校園等のボランティア活動に熱意のある学生を支援する「スクールボランティアビューロー（School Volunteer Bureau）（以下、ビューロー）」という窓口があります。ビューローは、本学の学生が子どもたちとの直接的な関わりを通して子どもたち一人ひとりの教育に資するボランティア活動ができるよう、また学校園等の現場における様々な支援を学生自身が取り組めるよう、これらスクールボランティアに特化した窓口となっています。そのため、学生一人ひとりにきめ細かいサポート体制が可能となっています。特に教職志望の学生にとっては、学校園等の現場の理解だけではなく、そこで求められる教育実践力の向上にもつながります。

まず、ビューローでは、4月と5月に「スクールボランティア説明会」を教育委員会（岡山県・岡山市等）と連携して実施しています。これは研修会の要素も含んでおり、学校園でのボランティア活動にあたっての必要な心構えや注意事項などを学ぶことができます。岡山県の実施する『「教師への道」インターンシップ事業』や岡山市の実施する「学校支援ボランティア」などへの参加はこの説明会への出席から始まります！また、万が一の事故に備えて、「ボランティア活動保険」への加入もビューローで行います（学生による加入負担はありません）。

実際のボランティア活動情報や学校園等からの依頼情報は、ビューローに届いた後、すぐに各学部事務室前の掲示板や教職掲示板等に掲示しています。また、教師教育開発センターのホームページや「岡大教職ナビ」というメールマガジンでも最新の情報を配信していますので、パソコンや携帯電話からも確認することが可能です。また、実際にボランティア活動を進めていく中で、困ったことや不安に感じたことがあれば相談も受け付けています（窓口でもホームページでも）。また、ボランティア活動を年度の途中から始めたいと思っている方もいつでもご相談ください。学校園等の現場に詳しい専任の教員が対応しますので、実態に応じた専門的で実践的なアドバイスを受けることができます。

ビューローの窓口は、教育学部本館にあります。教師教育開発センターは全学センターですので、すべての学部・研究科の学生が利用することができます。窓口での直接の相談も大歓迎です。ビューローを積極的に活用して、学生生活をより充実したものとしてください！！それを支援するのが我々の大切なミッションです！！

場 所 教育学部本館2階201室
受付時間 月曜日～金曜日（祝日を除く）
8時30分～17時15分

【文責：山根文男】

http @ www

教師教育センターホームページがもっと便利に

会員専用サイト「CTEDポータル」のコンテンツが充実！
いつもの岡大IDでログインし素早くアクセス！
教職情報メール受信設定もより簡単に！
デザインを大学公式ホームページと統一しより使いやすく！

岡山大学学生のための教職情報サイト

岡大教職ナビ

教師教育開発センターでは、パソコンや携帯電話を使ってホームページから教職に関する最新の情報をいつでもどこでも確認できる「岡大教職ナビ」を提供しています。卒業後も継続して利用できますので、「岡大教職ナビ」を活用して、あなたの「教師」への夢を叶えてください！

- ・教職課程履修 に役立つ情報満載
- ・教師力の自己研鑽 に役立つ情報満載
- ・教員採用 に役立つ情報満載

http://cted.okayama-u.ac.jp/

春は待ってられない!!!

教師をめざす学生のための三大イベントを一挙紹介

岡山大学教師教育開発センターでは、教師をめざすすべての学生のための説明会や講演会を実施しています。教員免許が取得できるどの学部・研究科の学生でも、**教師を志す気持ち**さえあれば参加できます。当センターが実施する様々なイベントに積極的に参加し、当センターの取り組みも理解し、そして、大学生の間にしっかりと活かしてください!

教職課程の出発点「全学教職オリエンテーション」

《1年生対象》



全学教職オリエンテーションは、教育学部以外の学部・コースに所属しながら教職を目指す学生さんを対象に用意された最初のプログラムです。ここでは、岡山大学で教職について、どの時期にどのようなことを学ぶのか4年間の見通しをもつことができます。毎年、多くの学生さんがこの全学教職オリエンテーションに参加しています。教職への意志が明確な人も迷っている人も気軽に参加して下さい。 【文責：三島知剛】

前半部 【文系学部】 日時:平成25年5月15日(水)14:30~16:00
場所:教育学部本館4階401室
【理系学部】 日時:平成25年5月22日(水)14:30~16:00
場所:教育学部講義棟2階5202室

学校現場を支える「スクールボランティア説明会」

《全学年対象》



スクールボランティアをしてみませんか?教師を目指している学生にとって、学校園の状況を知ることができる、またとない機会です。学校現場を支える力になるとともに、自分の「学び」もパワーアップすること間違いなしです。大いに参加してください。 【文責：曾田佳代子】

日時:平成25年4月24日(水)16:15~17:45
場所:一般教育棟A棟2階A-21
又は 日時:平成25年5月15日(水)16:15~17:45
場所:教育学部講義棟2階5202室

※両日同じ内容ですので、4月に参加できなかった学生は5月に参加してください。

教師力を高める「教師力養成講座」

《全学年対象》



今、日本の教育界やスポーツ界は『体罰』にゆれています。今年の教員採用試験のキーワードの一つが『体罰』です。『体罰』はなぜ許されないのか/『体罰』に抛らない指導の原理とはどのようなものなのか/自分が教師になったときはどのような指導をしようと考えているのか。これらのことについて自分なりの考えを持っておきましょう。体罰の問題に詳しい倉敷市教育委員会の笠原和彦先生に来ていただいて基調講演をしていただきます。 【文責：小川潔】

平成25年度第1回教師力養成講座『体罰』を考える
日時:平成25年5月22日(水)9:30~11:30
場所:一般教育棟E棟3階E-32

現職CST第一期生認定!



現職CST養成プログラムに参加し、平成25年3月までに認定に必要な要件をクリアされた17名の現職の先生方が、第一期現職CSTとして認定されました。

CSTに認定されるためには、約100時間の講座を受講していただく必要があります。理科教育や観察、実験を位置付けた学習指導推進の基盤となる知識・技能を明確にするための理科教育探究講座や観察・実験力向上講座、授業の課題やその改善方法を明確にするための授業実践力向上講座、学校現場の状況をとらえ支援の在り方を明確にするための理科実践研修講座など、実践を前提とした指導力・支援力を身に付けていただくための講座です。

児童生徒と、また周囲の先生方と一緒に楽しく理科の学習を進めるための教材や学習活動のポイントなどを研修された先生方です。

学校現場で理科の指導をされるときに、CSTとして認定された先生方に声を掛けていただければ、きっと気軽に相談にのってくださると思います。

難しく考えなくても、楽しく授業をするための方法を一緒に考えてくださることでしょう。 【文責：山崎光洋】

電力インフラ学習:CST講座



CST土曜講座(科学構成力探究講座)では先端科学・技術の話題を研究者に紹介してもらい科学の面白さを探ることを目指しています。3月16日の講座では(株)東芝の電力・社会システム技術開発センターの宮崎保幸氏を講師にお招きし、「コンセントの向こうに広がる巨大システム」と題して、電力インフラに関する話題を解説して頂きました。大震災以後、電力インフラの話題が途切れることはありませんが、コンセントの向こうには電力系統とよばれる巨大で緻密なシステムが存在しています。その誕生と発展の歴史から、運用技術、再生可能エネルギーを含む次世代の電力供給、消費システムの話題も含めて、3時間の講義をして頂きました。日本は世界3位の電力消費量ですが、震災前は世界一停電時間の短い国ということもあり、日常生活で電気を意識せずに使っています。講座を受講して、改めて電力供給システムと消費システムを意識して考えるきっかけとなりました。今回の講座には学生CST生12名、現職教員CST生12名が参加しました。受講レポートを見ると、普段意識しないコンセントの先のシステムを学べ受講生全員が大変満足していました。 【文責：荒尾真一】

学生が実践の成果を発表

岡山市教育委員会主催の岡山市学校支援ボランティアシンポジウムが2月16日に、又、岡山県教育委員会主催の「教師への道」インターンシップ事業シンポジウムが3月16日に県内の大学生、関係大学教員、ボランティアを受け入れている学校園の教員等々、多数の参加を得て岡山大学を会場に開催されました。2つのシンポジウムは、学生たち自らが自分たちの手で会を作り上げているところに大きな特徴があり、毎年この時期に開催されています。

いずれのシンポジウムも、学生ボランティアの代表学生3~4名が自身の活動の成果や活動を通して感じたことを発表した後、参加者との質疑応答により取組み内容をより深く理解していきました。発表者からは、将来教職を目指す学生にとって大学の講義では得られない教育現場を知る貴重な実体験の場であり、後輩たちにも是非とも取り組んで欲しいとの訴えがありました。学校園の教員からは、若い学生がボランティアとして学校園に入ることにより子どもたちの学習や様々な活動が活発になり教育効果をあげており、今後も積極的に参加して欲しいとの呼びかけがありました。 【文責：江木英二】



教員採用試験のツボ

その参「小論文の練習は面接対策でもある」

全体の8割程度の県・市で小論文が課されています。それは、「自分の考えをまとめて表現することができるか」「教育に対する考えを明確に持っているか」ということを見極めようとする県・市が多いからです。小論文の対策は、小論文を書き、それを他人に見てもらって批評してもらうということが有効です。いろいろなテーマで5回書けば、自分に力が付いてきているとい

うことが実感できるようになります。小論文を練習することの大きなメリットは、それがそのまま面接対策にもなるということです。面接でも、自分なりの考えをまとめて明確に答えることが求められます。更に面接では、試験官の質問に対してすぐに、自分の考えをまとめた的確に答えなければなりません。また、集団討論では、他人の考えを聞いた上でそれに関連づ

けて自分の考えを述べなければなりません。様々なテーマで小論文を書く練習をしておけば、面接でも自信を持って自分の考えを述べることができるようになります。教職相談室では、小論文の指導を行っています。最初はしんどいのですが、一度書いてみると書き方がだんだんと分かってきます。そして、自分に力が付いてきていることが実感できます。 【文責：小川潔】